

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年11月27日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年11月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【雑固体廃棄物焼却設備におけるダンパ駆動部不具合について】 雑固体廃棄物焼却設備の排ガス冷却器A上段ダブルダンパ駆動部のナットが脱落していることを確認。 当該箇所について、新品への交換を実施。	GⅢ
2	【雑固体廃棄物焼却設備におけるナット脱落について】 雑固体廃棄物焼却設備の排ガス冷却器ダブルダンパBグランドパッキン押さえのナットが脱落していること確認。 類似箇所について確認したところ、排ガス冷却器ダブルダンパA、二次燃焼器ダブルフラップダンパBについても同様にナットが脱落していることを確認。 当該箇所については新品の取り付けを実施。	GⅢ
3	【既設多核種除去設備C系における流量調節弁駆動部不具合について】 既設多核種除去設備C系処理ステージ2 CFF5, 6C二次側流量調節弁ポジションナー用空気減圧弁より空気の漏えいを確認。 現在C系統は停止中であり、当該弁は全閉状態で変化はない。 また、空気元弁を全閉し、空気漏えいの停止を確認。	GⅢ